

平成 27 年度 実験・実習技術研究会 in 西京 参加報告

工学部・工学研究科 技術部 機器・分析グループ

○藤田 由紀子, 中村昇二, 和藤浩, 黒田陽一郎

fujita@chem.mie-u.ac.jp

1. はじめに

平成 27 年度 3 月 3 日～4 日にかけて山口大学 吉田キャンパスにて実験・実習技術研究会が開催され、聴講参加したので報告する。

2. 実験・実習技術研究会について

15 の技術領域から構成された各分野における教育および研究支援等の活動についての発表、創意工夫と失敗談を含めた交流を通して技術の研鑽と向上、各機関への寄与を目的として開催された。

3. 平成 27 年度実験・実習技術研究会

3.1 開催概要

主催：山口大学

平成 27 年度実験・実習技術研究会実行委員会

日時：2016 年 3 月 3 日(木)09 時 30 分～

3 月 4 日(金)16 時 00 分

場所：山口大学 吉田キャンパス

参加登録人数：478 名

発表登録件数：口頭発表 76 件、ポスター発表 156 件



山口大学 吉田キャンパス 正門付近

3.2 日程

3月3日(木)

09:30- 大学の技術職員組織を考えるシンポジウム in 山口大学

13:00- 開会式

記念講演「ピンチはチャンス！～山口の山奥の小さな酒蔵だからこそできたもの～」

旭酒造株式会社代表取締役 桜井博志氏

14:25- 2016 年度名古屋大学機器・分析技術研究会の紹介

東京大学総合技術研究会 2017 の紹介

平成 29 年度信州大学実験・実習技術研究会の紹介

15:00- ポスター発表

18:30- 情報交換会

3月4日(金)

09:00- 口頭発表 (午前)

13:00- 口頭発表 (午後)

3.3 シンポジウム

全学組織化された岩手大学、静岡大学、鳥取大学、広島大学を代表する技術職員を中心に組織化の背景、現組織の紹介、組織化により抱える問題と今後の方針について意見交換が行われた。

3.4 記念講演

日本酒「獺祭（だっさい）」は純米大吟醸の販売量で日本一である。

旭酒造は山奥の過疎地にあるため、市場を求めて東京、世界へ販売拡大を果たしたこと、山口県内では酒米が手に入らないため全国から「山田錦」の購入調達ルートを開拓したことをはじめ、獺祭が世界中で飲まれるようになった理由を聴くことができた。

3.5 ポスター発表

三重大学からは、下記題目にて発表を行った。

中村昇二：

ハイドロカーボン除去装置を用いた DLC 膜の評価

和藤 浩：

平成26年度東海・北陸地区国立大学法人等技術職員合同研修
(物理・化学コース)実習「コンクリートの圧縮強度推定および劣化診断」の実施報告



ポスター発表

3.6 口頭発表

三重大学からは、下記の発表を行った。

黒田陽一朗：

青少年のための科学の祭典 2015 三重大学大会 出展報告



口頭発表

4. おわりに

他大学、機関における地域貢献、学内研修及び学生に対する支援活動への取り組みを知ることが出来た。見聞したことを反映できるよう、努めたいと思う。

5. 謝辞

最後に、本研究会に聴講参加の機会を与えていただいた三重大学技術部に感謝いたします。